トステム株式会社

ランバーステージ 取付け説明書

■施工される方へのお願い

●この説明書は施工完了後、お施主様にお渡しください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の障害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注 意

●住宅1階床高を超える場所に本製品を取り付けないでください。転落によりけがをするおそれがあります。
●シーリング指定個所には、必ずシーリング材を充てんしてください。雨水が躯体に浸入するおそれがあります。
●本部の切断面は必ず面取りし、保護塗装をしてください。けがをするおそれがあります。

■施工上のお願い

●タッピンねじの下穴には、指定の下穴より太いドリルを使用しないでください。
●必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。
●基礎・束の移動は、当社指定範囲内にしてください。
●基礎の大きさは当社指定寸法以上にしてください。
●地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないようにしてください。
●寒冷地で凍上のおそれのある地域に取り付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
●基礎には海砂・急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
●基礎の養生期間は4日～1週間とり、その間重いものをのせたり振動を与えたりしないようご指示ください。
●調整束には水抜き穴をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、束・調整束が破損するおそれがあります。
●アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●改造・変更をしないでください。
●取付けは必ず専門業者の方が行ってください。不具合発生の原因となることがあります。
●水平・垂直は正確に出してください。組み立てられなくなることがあります。
●当社指定の付属品以外は取り付けないでください。

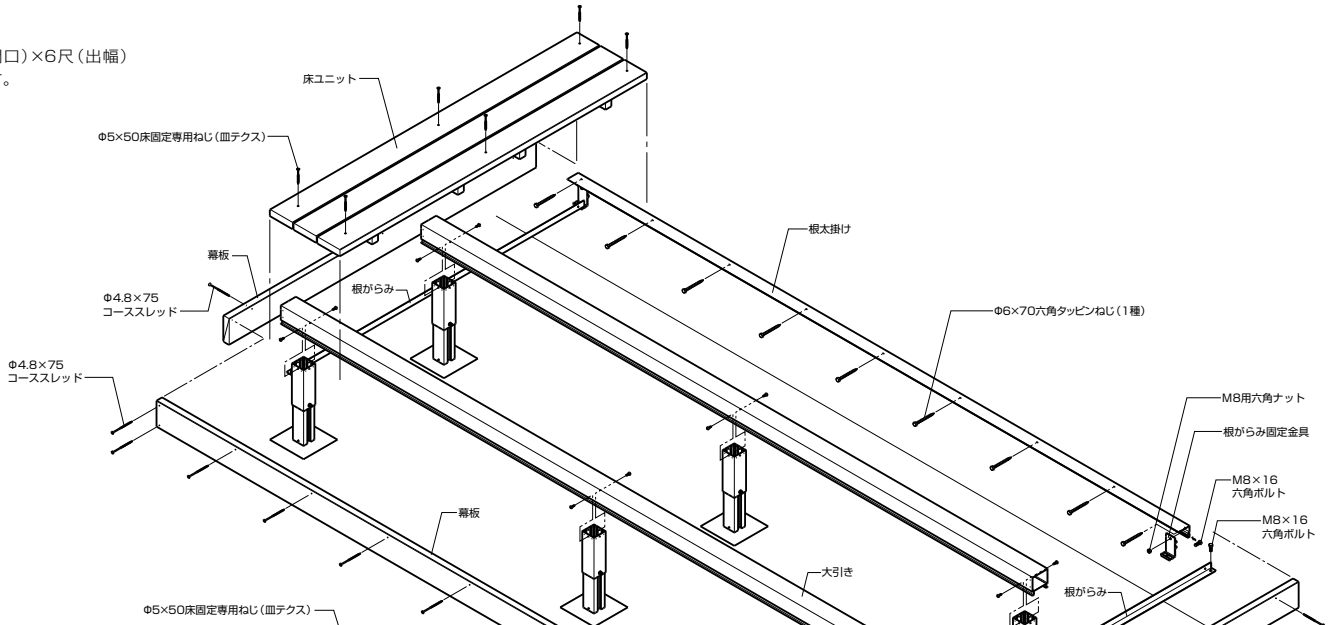
■お施主様へのお願い

●当社指定の付属品以外は取り付けないでください。
●ボルト・ナット・ねじ等は絶対に緩めないでください。
●雪おろしの際は、金属製のスコップ等を使用しないでください。床材が傷付く原因になります。必ずプラスチック製のスコップ等で静かに行ってください。
●木部外観を維持するため、1回/年の割合で再塗装してください。

■構造説明図

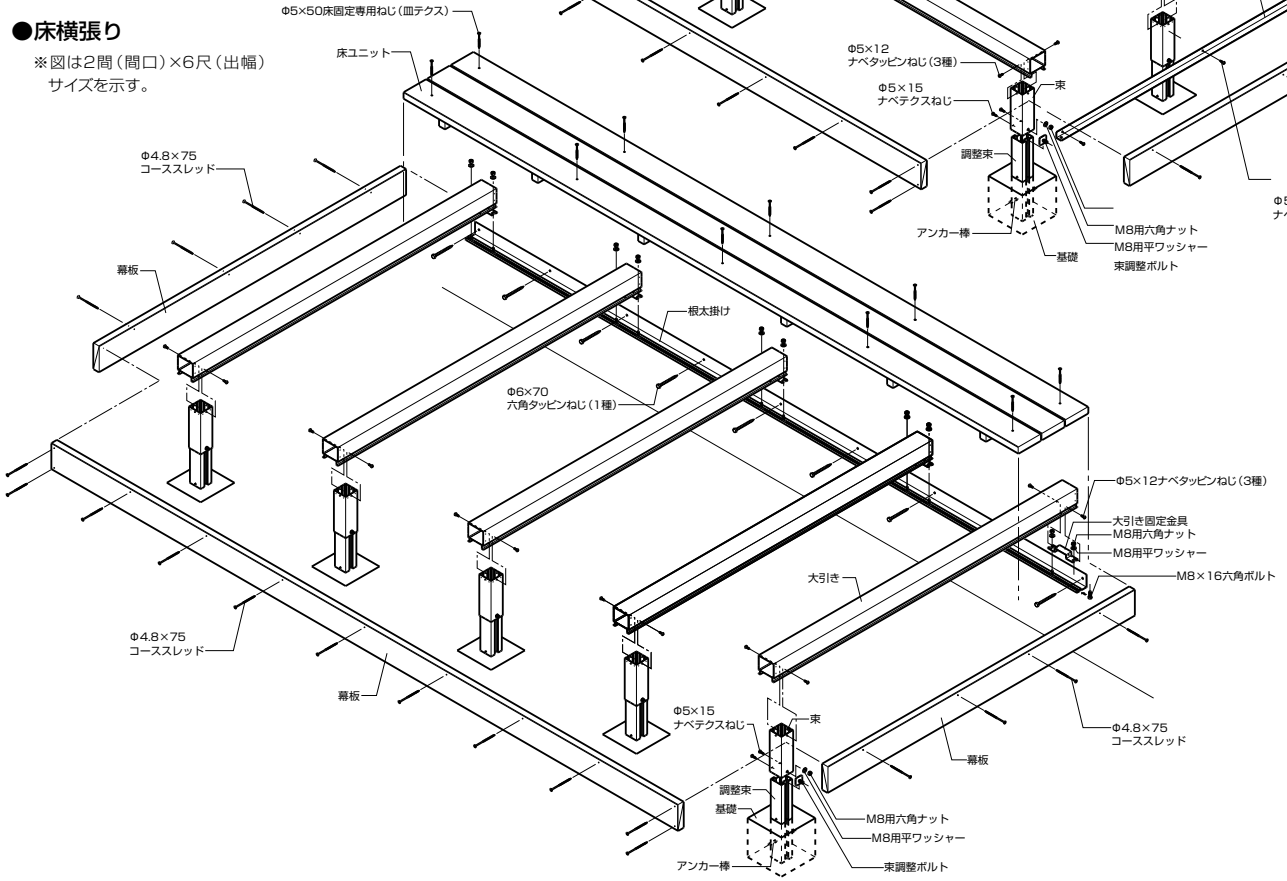
●床縦張り

※図は2間（間口）×6尺（出幅）サイズを示す。

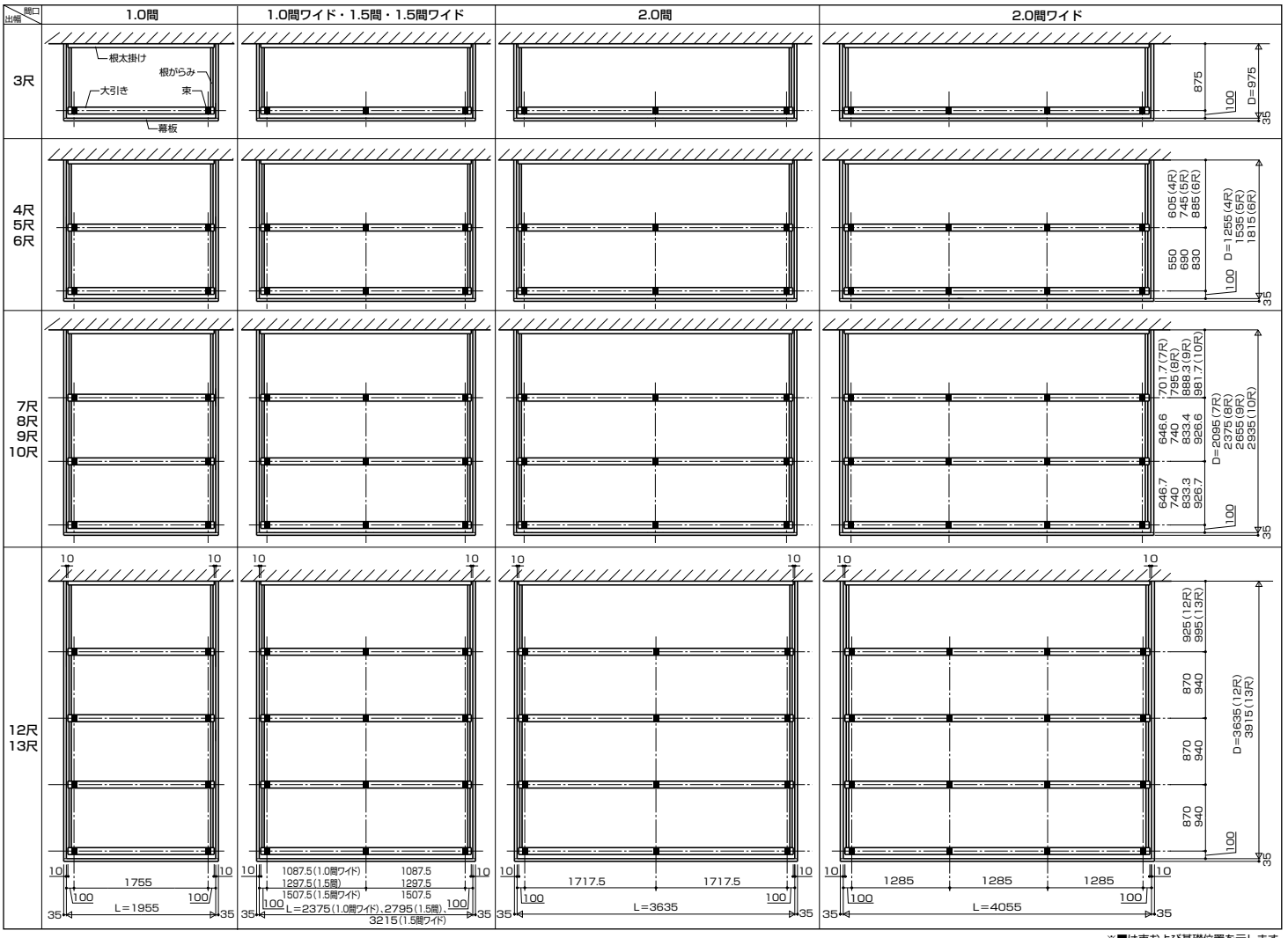


●床横張り

※図は2間（間口）×6尺（出幅）サイズを示す。

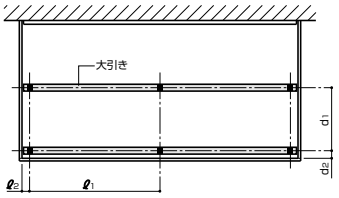


■伏図（床縦張り）標準



※■は束および基礎位置を示します。

〔基礎（束）・大引き移動範囲〕



ℓ1:基礎（束）のピッチは、2030以下にしてください。

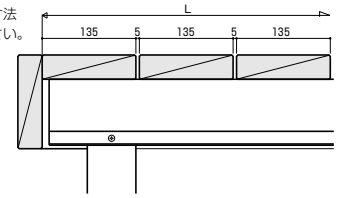
d1:大引きのピッチは、1090以下にしてください。

ℓ2・d2:端部寸法は、200以下にしてください。

※大引きを移動する場合は、床ユニットの根太にぶつからないよう、位置を確認してください。（なるべく束の移動で対処してください。）

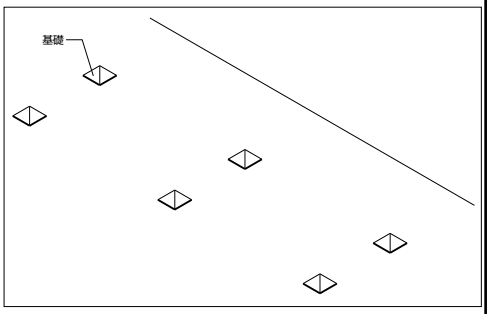
〔間口寸法（L）を切り詰める場合〕

※切詰め寸法＝左記規格間口寸法（L）−140（×n）にしてください。（床板幅135＋透き間5＝140）

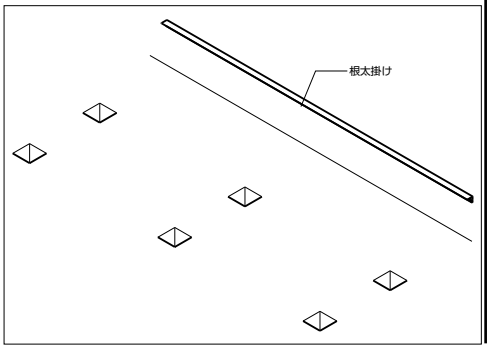


■取付け順序（床縦張り）

1 基礎の設置



2 根太掛けの取付け

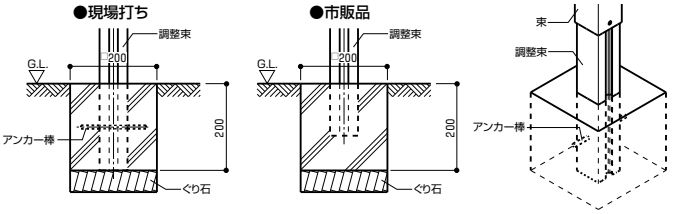


■取付け詳細（床縦張り）標準

1 基礎の設置

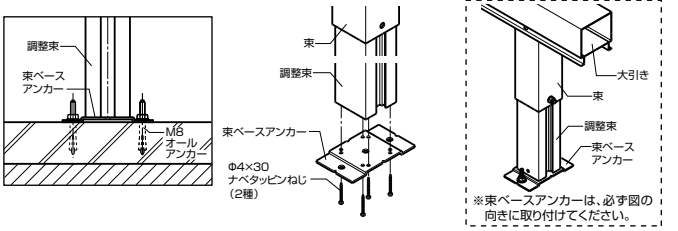
〔埋込み仕様〕

※基礎は、現場打ち・市販品ともに200（D）×200（W）×200（H）以上にしてください。
※市販品を使用する場合は、必ず調整束が固定できる構造のものにしてください。
※基礎位置は、伏図を参考に決定してくださ



〔土間仕様〕

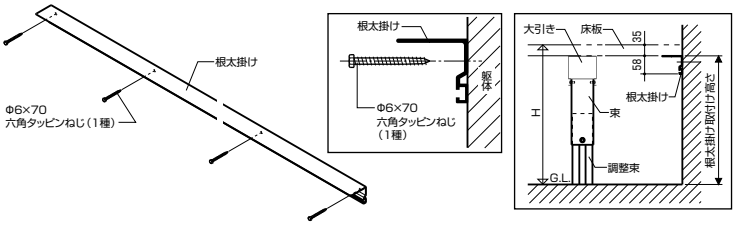
※土間コンクリート直付けの場合は、別売りの束ベースアンカーセット（WVCZ012/2個入り）（WVCZ013/3個入り）をご使用ください。
※調整束に束ベースアンカーを取り付けてください。



※束ベースアンカーは、必ず図の向きに取り付けてください。

2 根太掛けの取付け

①根太掛け取付け位置を出します。
②根太掛けの水平を出し、躯体に取り付けます。
※根太掛けは必ず構造材に取り付けてください。
※下穴にはコーキング材を充てんしてください。

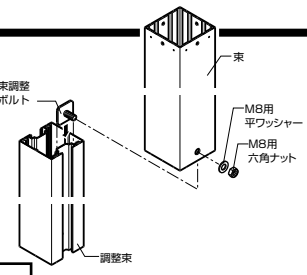


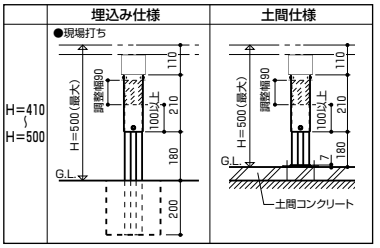
3 束・調整束の組立て

※束セットH＝500用を使用した埋込み仕様（現場打ち）の場合、製品Hは G.L.より最大500、調整可能範囲は410～500です。

①束の内側から通した束調整ボルトを、調整束の溝にスライドさせて差し込みます。

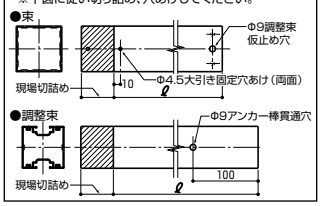
②束と調整束を100以上重ね、仮止めします。





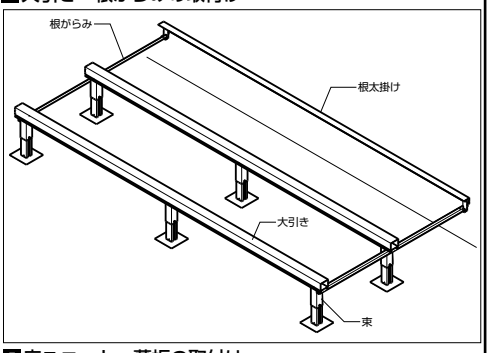
〔製品H＜410・土間仕様の場合〕

※下図に従い切り詰め、穴あけしてください。

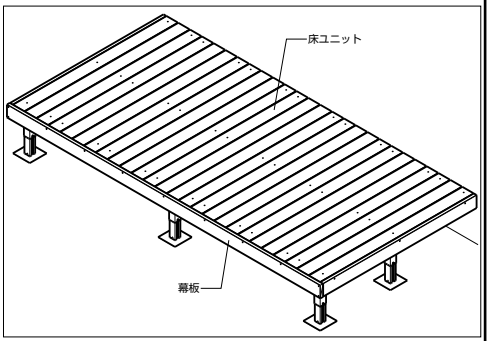


3 束・調整束の組立て

4 大引き・根がらみの取付け



5 床ユニット・幕板の取付け



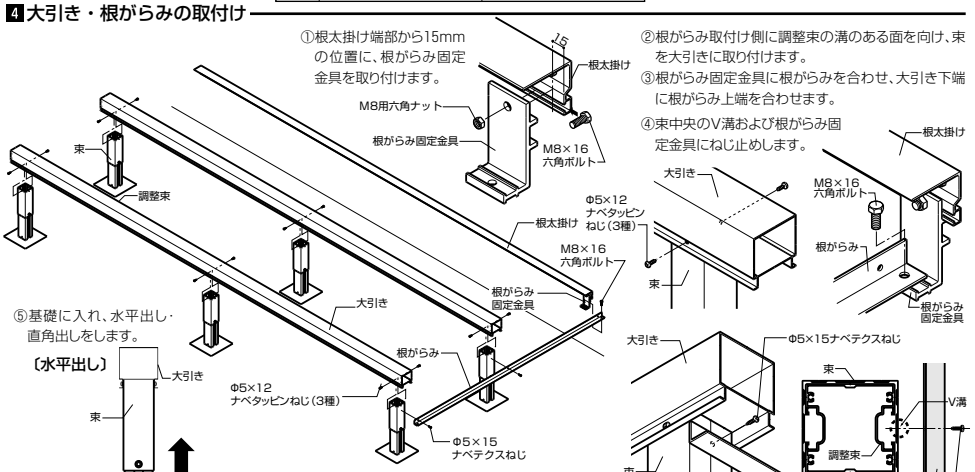
4 大引き・根がらみの取付け

①根太掛け端部から15mmの位置に、根がらみ固定金具を取り付けます。

②根がらみ取付け側に調整束の溝のある面を向け、束を大引きに取り付けます。

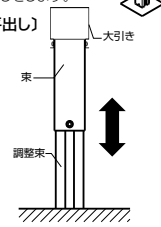
③根がらみ固定金具に根がらみを合わせ、大引き下端に根がらみ上端を合わせます。

④束中央のV溝および根がらみ固定金具にねじ止めします。

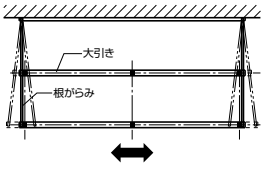


⑤基礎に入れ、水平出し・直角出しをします。

〔水平出し〕



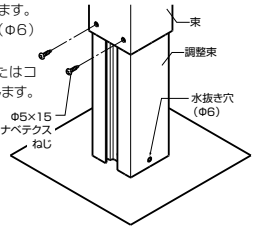
〔直角出し〕



⑥束と調整束を固定します。

⑦調整束に水抜き穴（Φ6）をあけます。

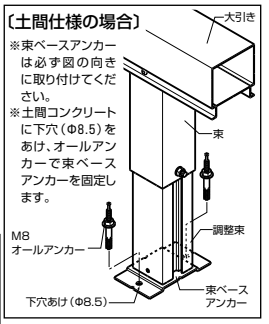
⑧基礎にモルタルまたはコンクリートを充てんします。



〔土間仕様の場合〕

※束ベースアンカーは必ず図の向きに取り付けてください。

※土間コンクリートに下穴（Φ8.5）をあけ、オールアンカーで束ベースアンカーを固定します。

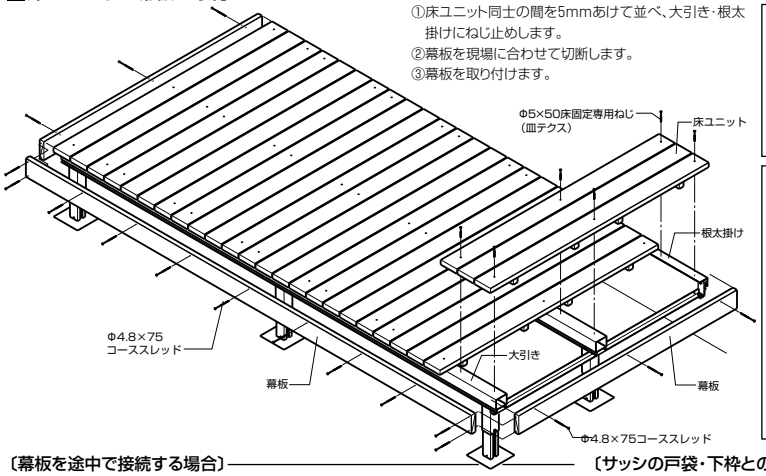


5 床ユニット・幕板の取付け

①床ユニット同士の間を5mmあけて並べ、大引き・根太掛けにねじ止めします。

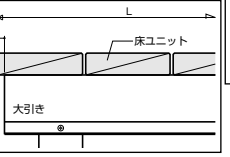
②幕板を現場に合わせて切断します。

③幕板を取り付けます。



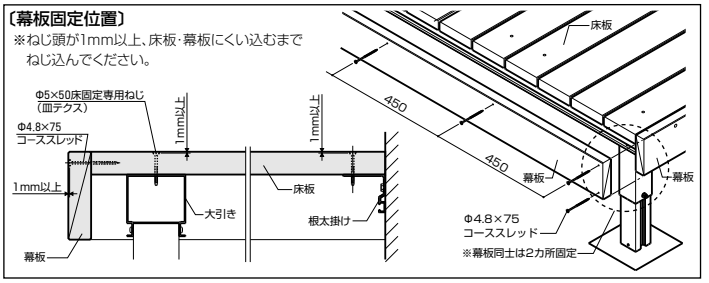
〔床ユニット取付け位置〕

※床ユニットは、大引き端部より10mm大きくなっています。寸法を確認して取り付けてください。



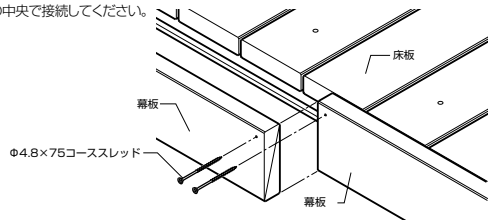
〔幕板固定位置〕

※ねじ頭が1mm以上、床板・幕板にくい込むまでねじ込んでください。

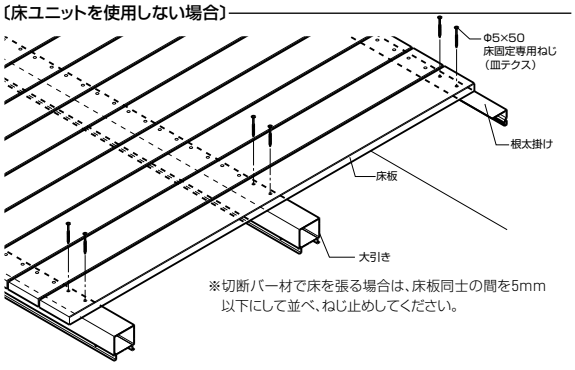


〔幕板を途中で接続する場合〕

※床板の中央で接続してください。



〔床ユニットを使用しない場合〕

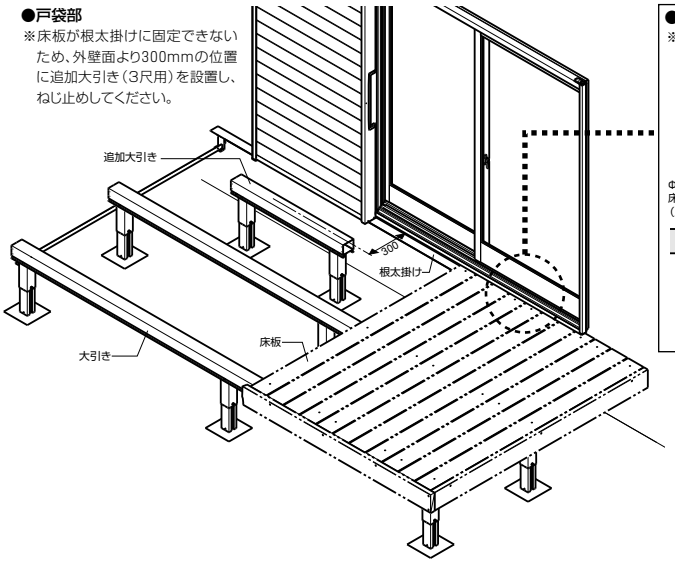


※切断バー材で床を張る場合は、床板同士の間を5mm以下にして並べ、ねじ止めしてください。

〔サッシの戸袋・下枠との取合い〕

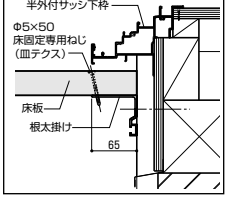
●戸袋部

※床板が根太掛けに固定できないため、外壁面より300mmの位置に追加大引き（3尺用）を設置し、ねじ止めしてください。



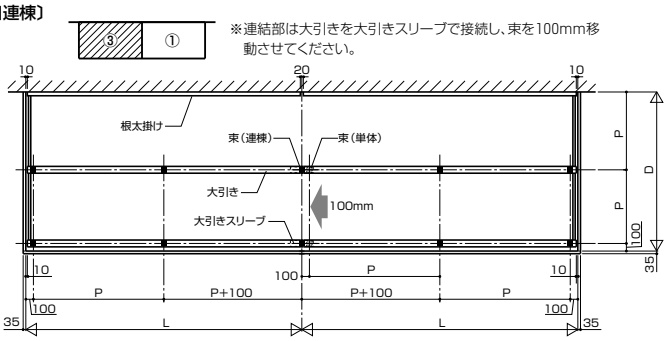
●下枠部

※通常半外付タイプまでなら、下枠の手前から斜めにねじ止めして固定できます。（ただし外壁厚による。）根太掛けより下枠先端が出る場合は追加大引きを設置し、ねじ止めしてください。

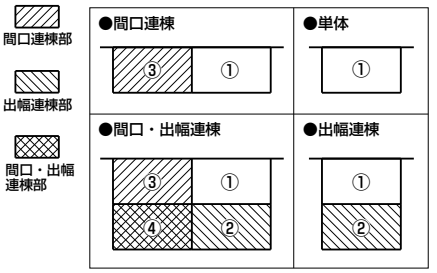


■伏図（床縦張り）連棟

〔間口連棟〕



〔凡　例〕

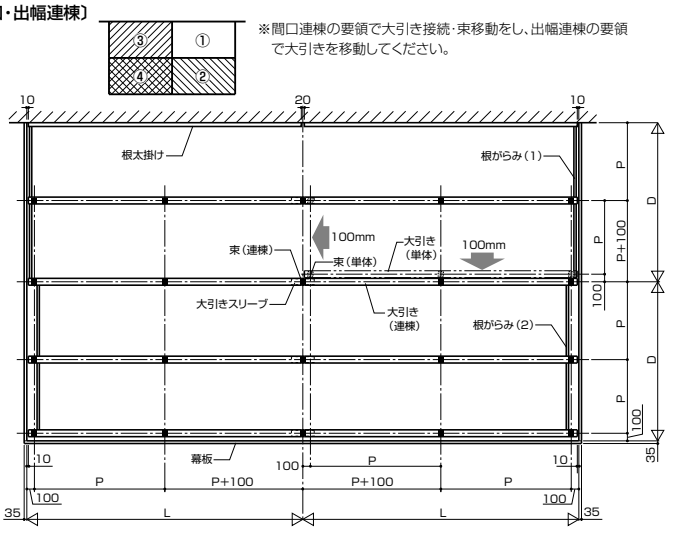


〔連棟対応機種〕

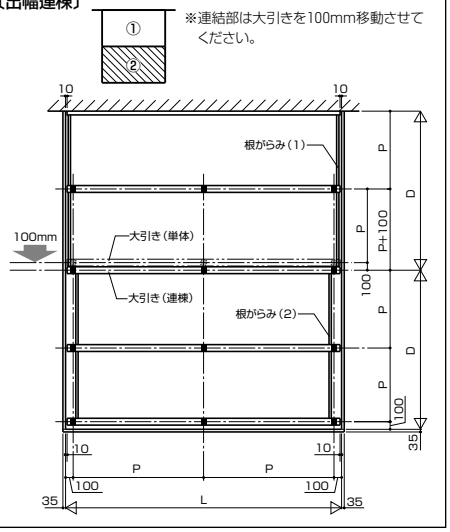
間　口	L	P
1.0間	1955	伏図（標準）参照
1.0間ワイド	2375	〃
1.5間	2795	〃
1.5間ワイド	3215	〃
2.0間	3655	〃
2.0間ワイド	4055	〃
出　幅	**D**	**P**
7尺	2095	伏図（標準）参照
8尺	2375	〃
9尺	2655	〃
10尺	2935	〃
12尺	3635	〃

※連棟は、上記の機種で行ってください。
※大引き連結部には必ず束を立ててください。
※基礎（束）・大引き移動範囲は、標準タイプに従ってください。

〔間口・出幅連棟〕

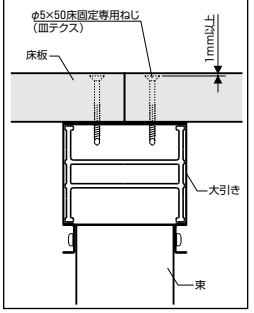


〔出幅連棟〕



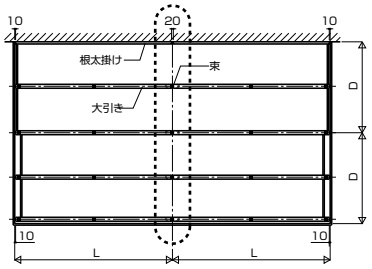
〔連棟時の床板〕

※床板は、必ず大引きの位置で接続してください。
※ねじ頭が1mm以上、床板にくい込むまでねじ止めしてください。



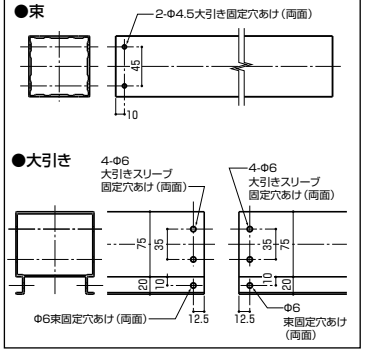
■連棟方法（床縦張り）

■間口連棟

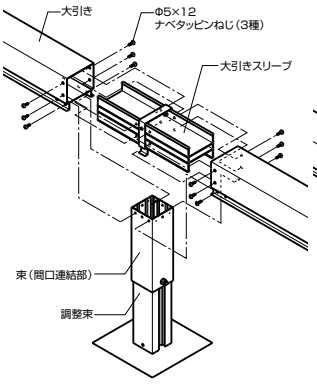


①連結部の束・大引きに穴をあけます。（加工図参照）

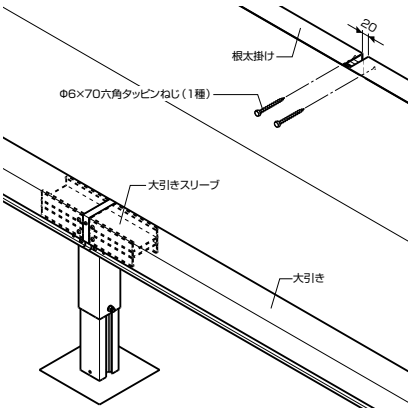
〔加工図〕



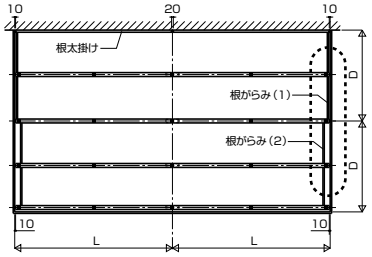
②大引きを大引きスリーブで接続し、束を取り付けます。
※大引き連結部には必ず束を立ててください。



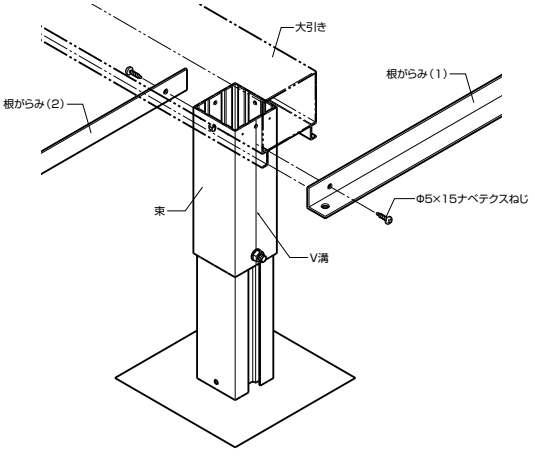
③連結部を20mmあけて、根太掛けを躯体に固定します。
※その他の取付けについては、標準タイプに従ってください。

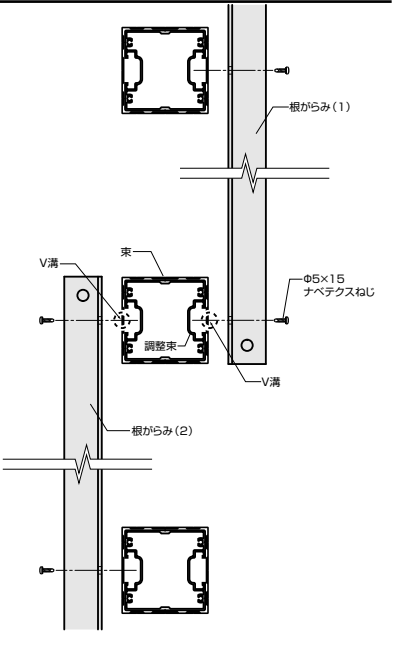


■出幅連棟



※根がらみは、1サイズ上（D=7尺の場合8尺）のものをご使用ください。
①ねがらみ（1）・（2）を切断し、穴をあけます。（加工図参照）
②束中央のV溝に、根がらみ（1）・（2）をねじ止めします。
※その他の取付けについては、標準タイプに従ってください。

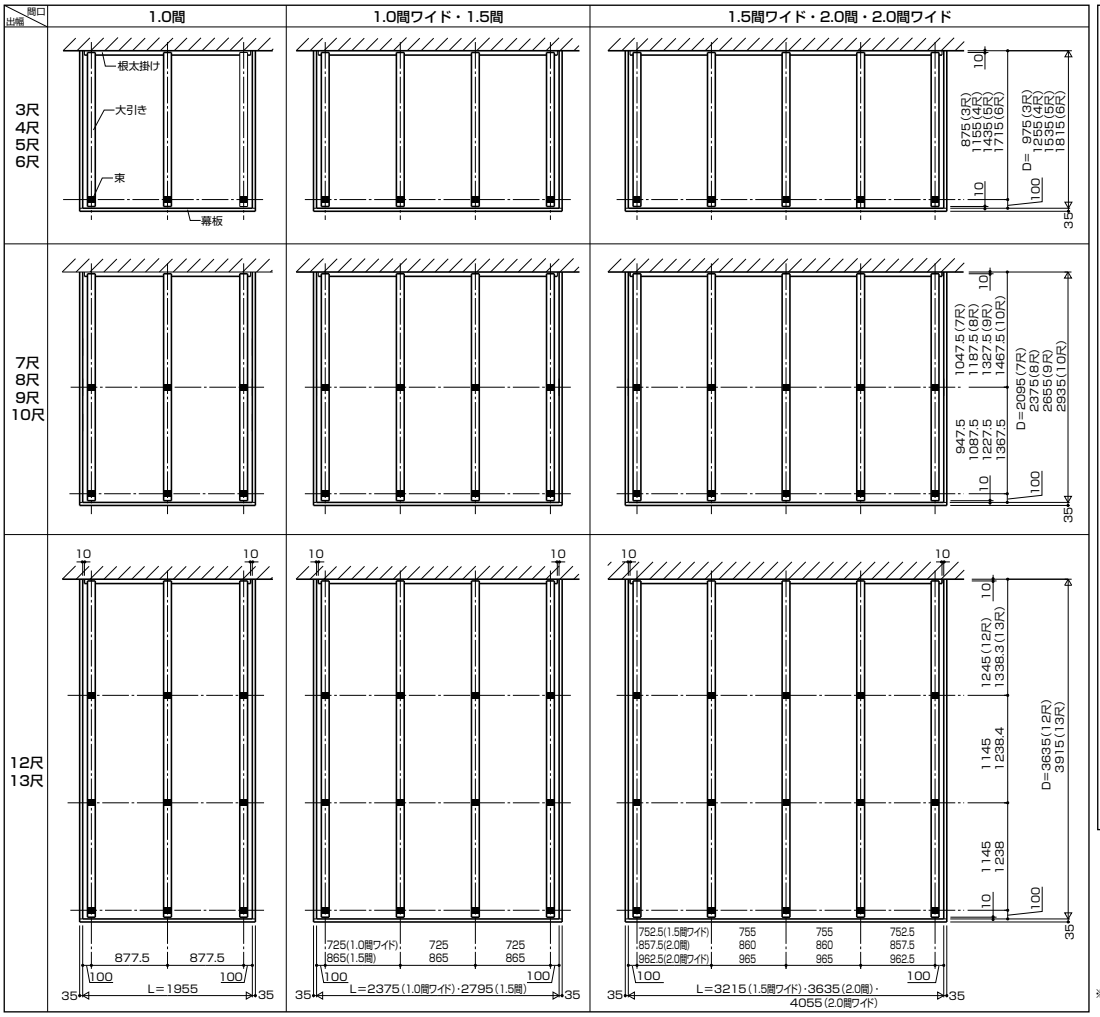




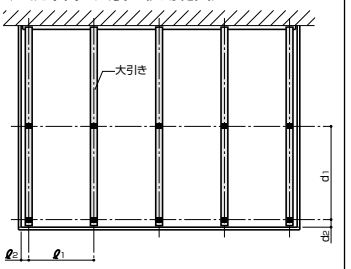
〔加工図〕

※束ピッチは、伏図（標準・連棟）の束位置と同じです。伏図を参考に算出してください。

■伏図（床横張り）標準



〔基礎（束）・大引き移動範囲〕



ℓ_1：大引きのピッチは、1090以下にしてください。

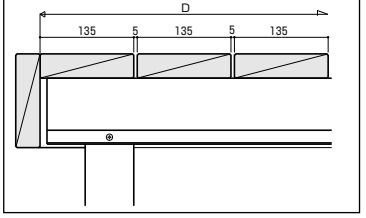
d1：基礎（束）のピッチは、2030以下にしてください。

ℓ_2・d2：端部寸法は、200以下にしてください。

※大引きを移動する場合は、床ユニットの根太にぶつからないよう、位置を確認してください。（なるべく束の移動で対処してください。）

〔出幅寸法（D）を切り詰める場合〕

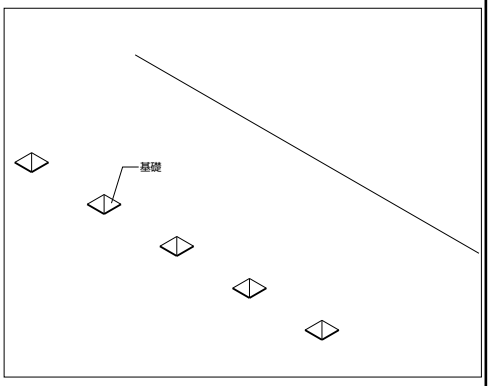
※切詰め寸法＝左記規格出幅寸法（D）−140（×n）にしてください。
（床板幅135＋透き間5＝140）



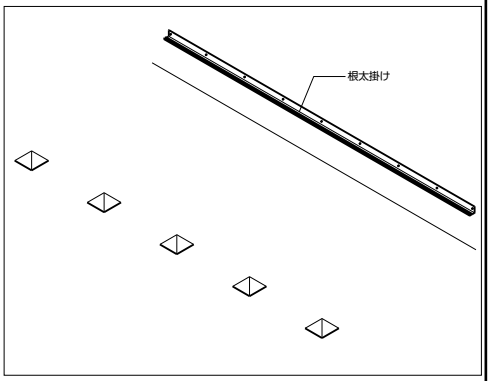
※■は束および基礎位置を示します。

■取付け順序（床横張り）

1 基礎の設置



2 根太掛けの取付け



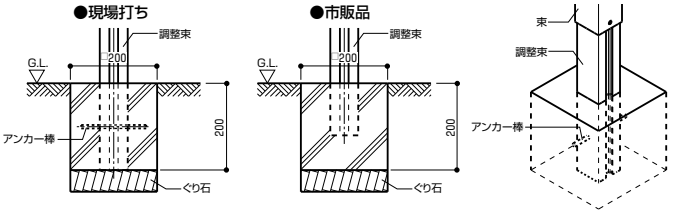
3 束・調整束の組立て

■取付け詳細（床横張り）標準

1 基礎の設置

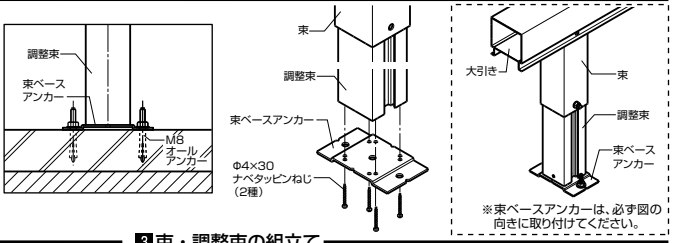
〔埋込み仕様〕

※基礎は、現場打ち・市販品ともに200（D）×200（W）×200（H）以上にしてください。
※市販品を使用する場合は、必ず調整束が固定できる構造のものにしてください。
※基礎位置は、伏図を参考に決定してくださ



〔土間仕様〕

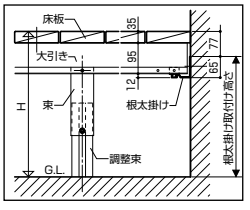
※土間コンクリート直付けの場合は、別売りの束ベースアンカーセット（WVCZ012/2個入り）（WVCZ013/3個入り）をご使用ください。
※調整束に束ベースアンカーを取り付けてください。

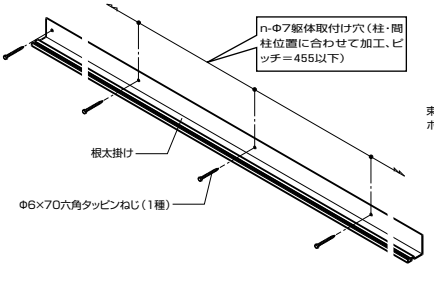


※束ベースアンカーは、必ず図の向きに取り付けてください。

2 根太掛けの取付け

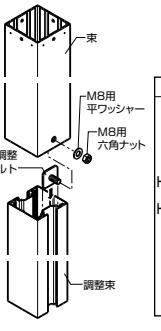
①根太掛け取付け位置を出します。
②躯体取付け穴をあけます。
③根太掛けの水平を出し、躯体に取り付けます。
※根太掛けは必ず構造材に取り付けてください。
※下穴にはコーキング材を充てんしてください。





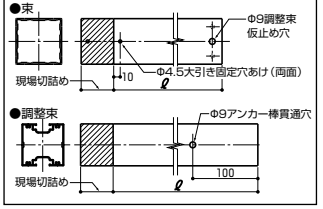
3 束・調整束の組立て

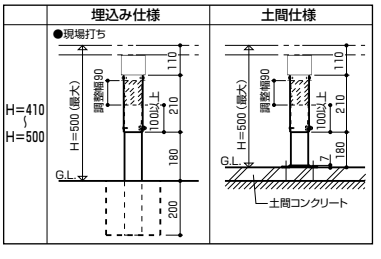
※束セットH＝500用を使用した埋込み仕様（現場打ち）の場合、製品HはG.L.より最大500、調整可能範囲は410〜500です。
①束の内側から通した束調整ボルトを、調整束の溝にスライドさせて差し込みます。
②束と調整束を100以上重ね、仮止めします。



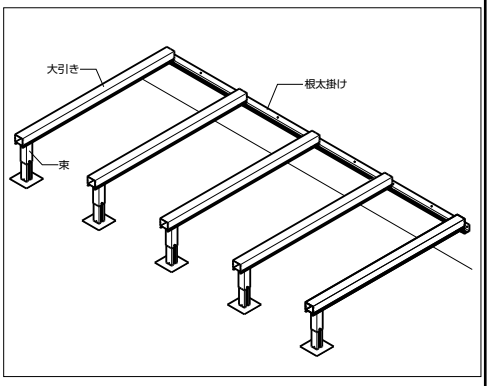
〔製品H＜410・土間仕様の場合〕

※下図に従い切り詰め、穴あけしてください。

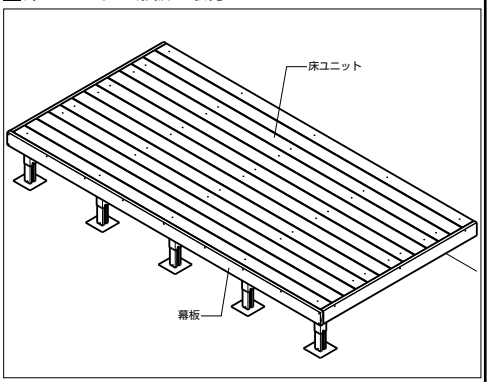




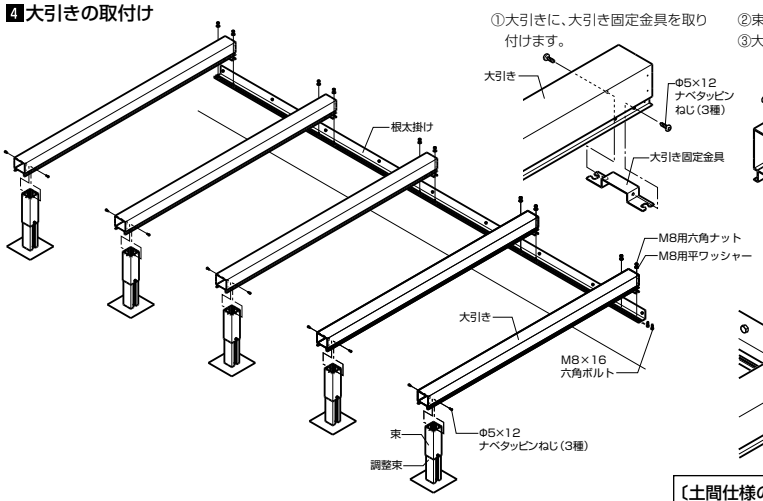
4 大引きの取付け



5 床ユニット・幕板の取付け

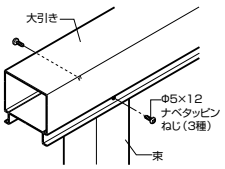


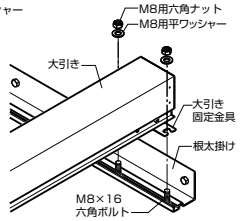
4 大引きの取付け



①大引きに、大引き固定金具を取り付けます。

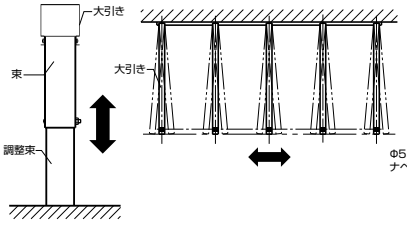
②束を大引きに取り付けます。
③大引きを根太掛けに取り付けます。



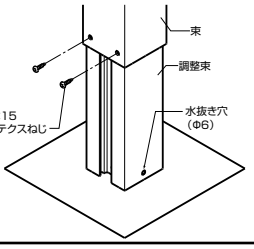


④基礎に入れ、水平出し・直角出しをします。

〔水平出し〕 〔直角出し〕

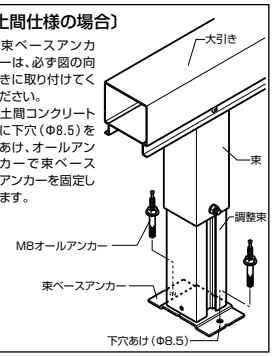


⑤束と調整束を固定します。
⑥調整束に水抜き穴(Φ6)をあけます。
⑦基礎にモルタルまたはコンクリートを充てんします。



〔土間仕様の場合〕

※束ベースアンカーは、必ず図の向きに取り付けてください。
※土間コンクリートに下穴(Φ8.5)をあけ、オールアンカーで束ベースアンカーを固定します。

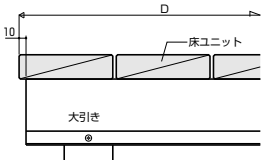


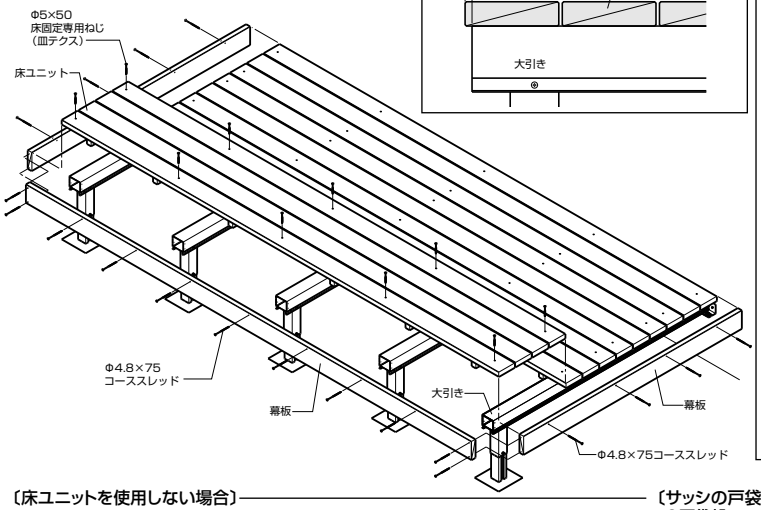
5 床ユニット・幕板の取付け

①床ユニット同士の間を5mmあけて並べ、大引きにねじ止めします。
②幕板を現場に合わせて切断します。
③幕板を取り付けます。

〔床ユニット取付け位置〕

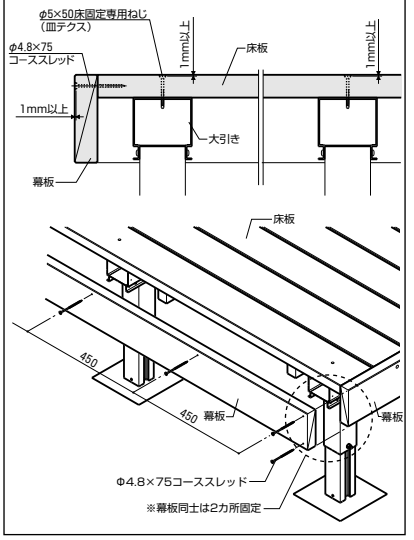
※床ユニットは、大引き端部より10mm大きくなっています。寸法を確認して取り付けてください。





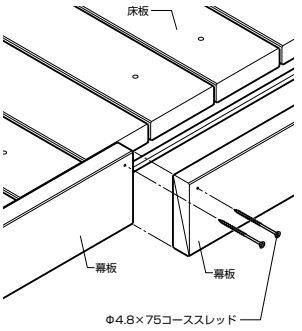
〔幕板固定位置〕

※ねじ頭が1mm以上、床板・幕板にくい込むまでねじ込んでください。



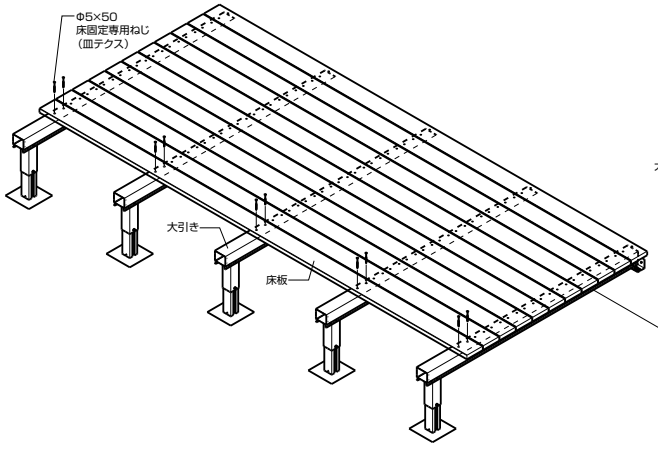
〔幕板を途中で接続する場合〕

※床板の中央で接続してください。



〔床ユニットを使用しない場合〕

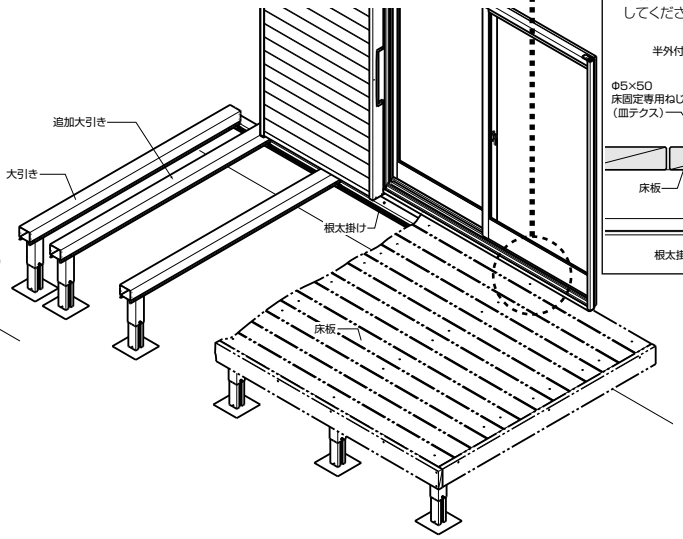
※切断バー材で床を張る場合は、床板同士の間を5mm以下にして並べ、ねじ止めしてください。



〔サッシの戸袋・下枠との取合い〕

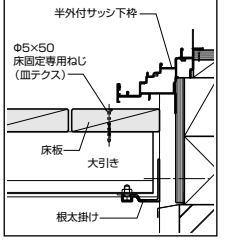
●戸袋部

※戸袋両側直近に追加大引きを設置し、床板をねじ止めしてください。



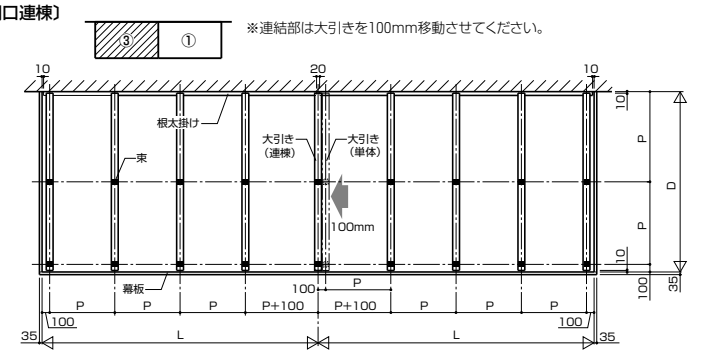
●下枠部

※下枠の手前から、大引きに固定してください。

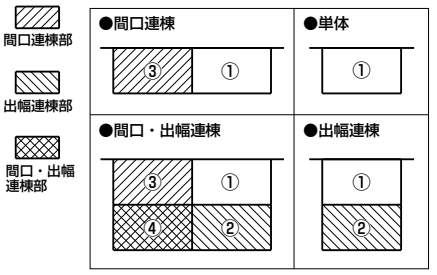


■伏図（床横張り）連棟

〔間口連棟〕



〔凡　例〕



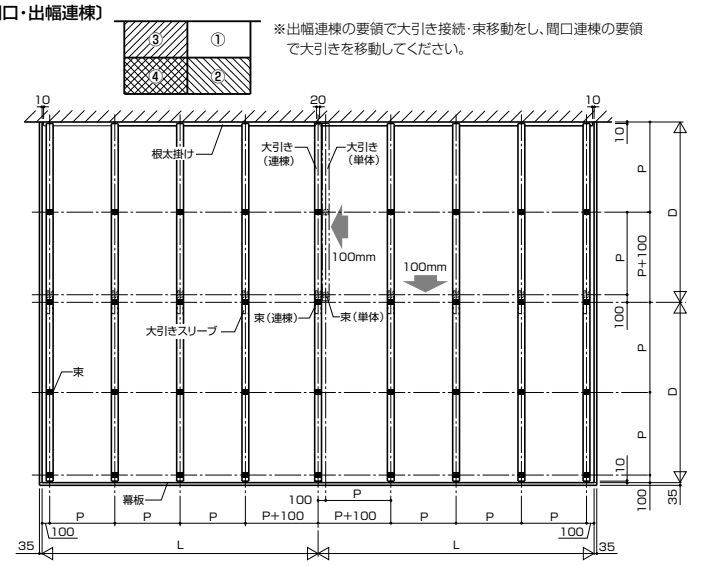
〔連棟対応機種〕

間　口	L	P
1.0間	1955	伏図（標準）参照
1.0間ワイド	2375	〃
1.5間	2795	〃
1.5間ワイド	3215	〃
2.0間	3635	〃
2.0間ワイド	4055	〃

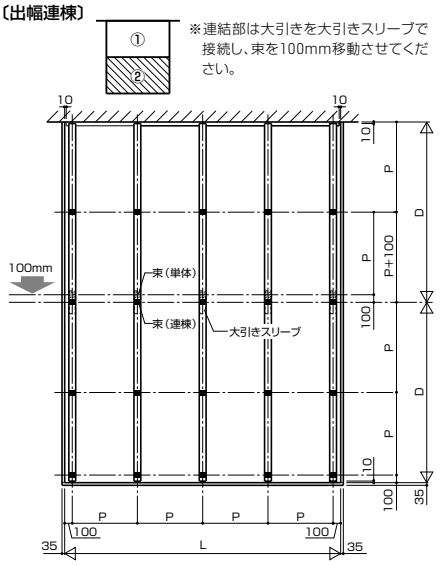
出　幅	D	P
7尺	2095	伏図（標準）参照
8尺	2375	〃
9尺	2655	〃
10尺	2935	〃
12尺	3635	〃

※連棟は、上記の機種で行ってください。
※大引き連結部には必ず束を立ててください。
※基礎（束）・大引き移動範囲は、標準タイプに従ってください。

〔間口・出幅連棟〕

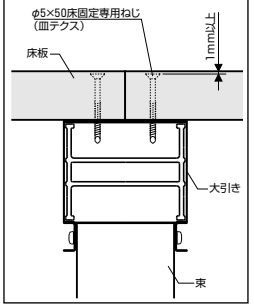


〔出幅連棟〕



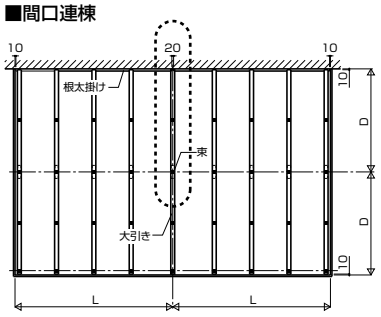
〔連棟時の床板〕

※床板は、必ず大引きの位置で接続してください。
※ねじ頭が1mm以上、床板にくい込むまでねじ止めしてください。



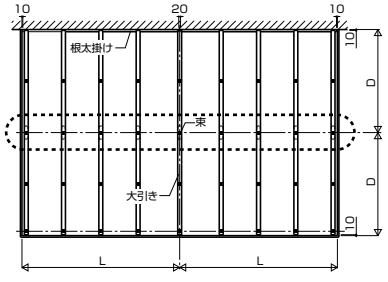
■連棟方法（床横張り）

■間口連棟

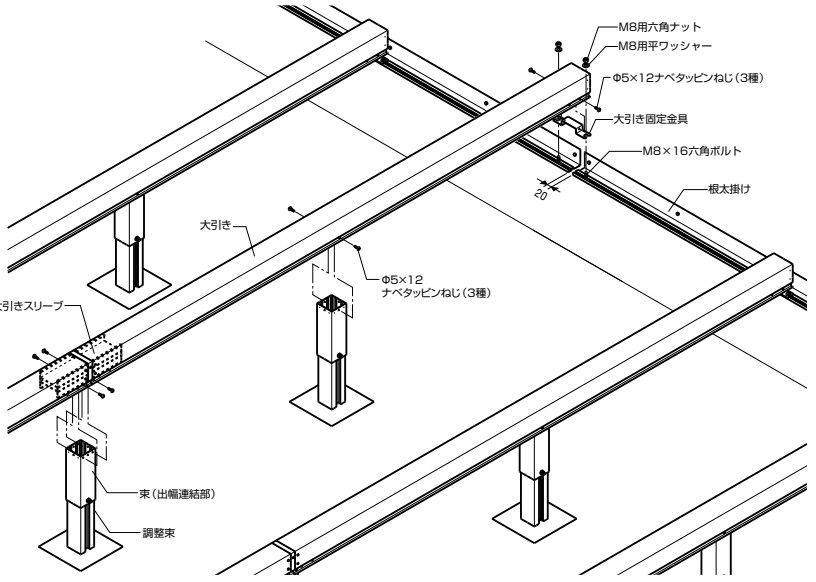


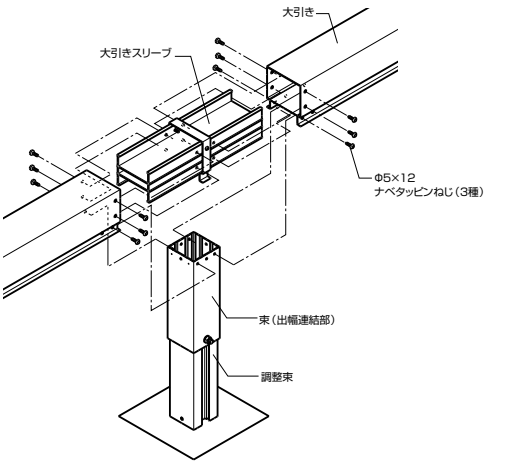
①連結部を20mmあけて、根太掛けを躯体に固定します。
②大引きを根太掛けに取り付けます。
※その他の取付けについては、標準タイプに従ってください。

■出幅連棟



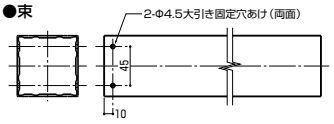
①連結部の束・大引きに穴をあけます。（加工図参照）
②大引きを大引きスリーブで接続し、束を取り付けます。
※大引き連結部には必ず束を立ててください。
※その他の取付けについては、標準タイプに従ってください。



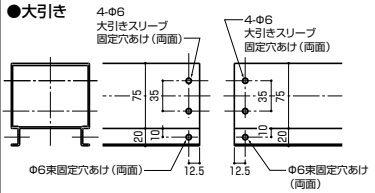


〔加工図〕

●束



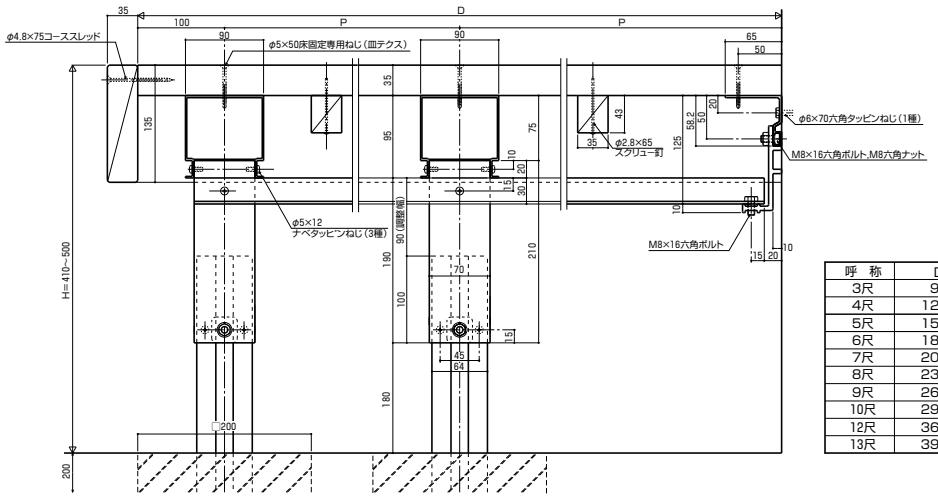
●大引き



■参考納まり図

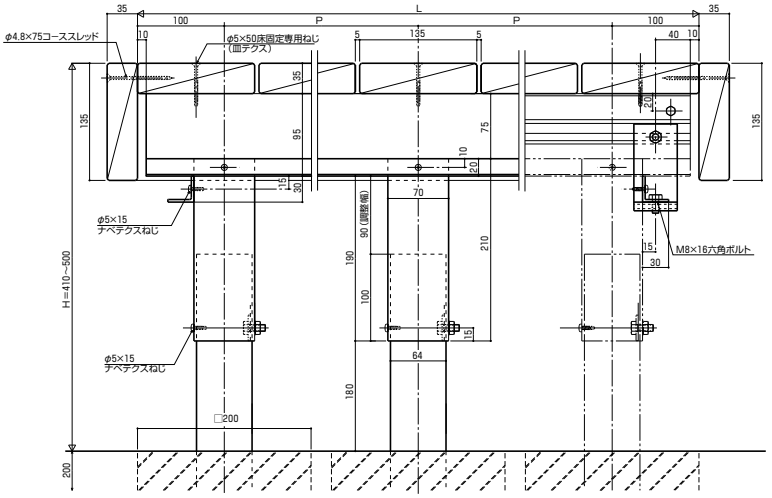
〔床縦張り〕

●出幅方向



呼　称	D
3尺	975
4尺	1255
5尺	1535
6尺	1815
7尺	2095
8尺	2375
9尺	2655
10尺	2935
12尺	3635
13尺	3915

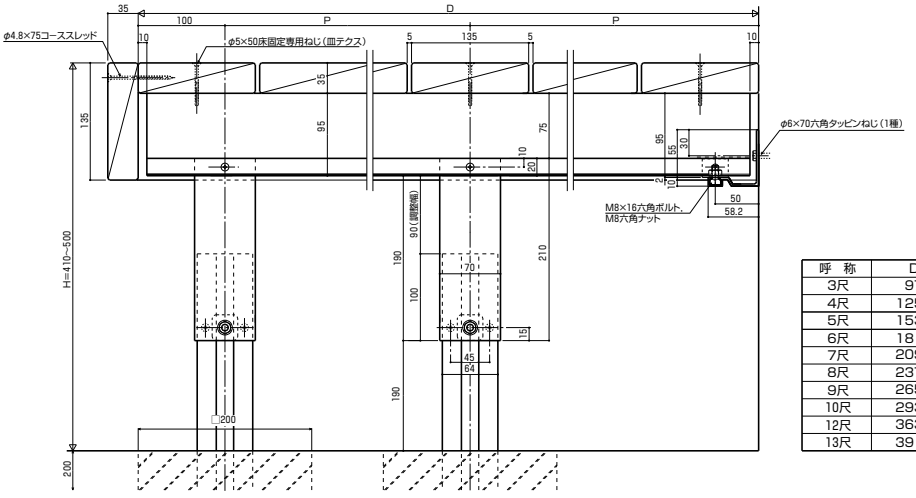
●間口方向



呼　称	L
1　間	1955
1.5間	2795
2　間	3635
1間ワイド	2375
1.5間ワイド	3215
2間ワイド	4055

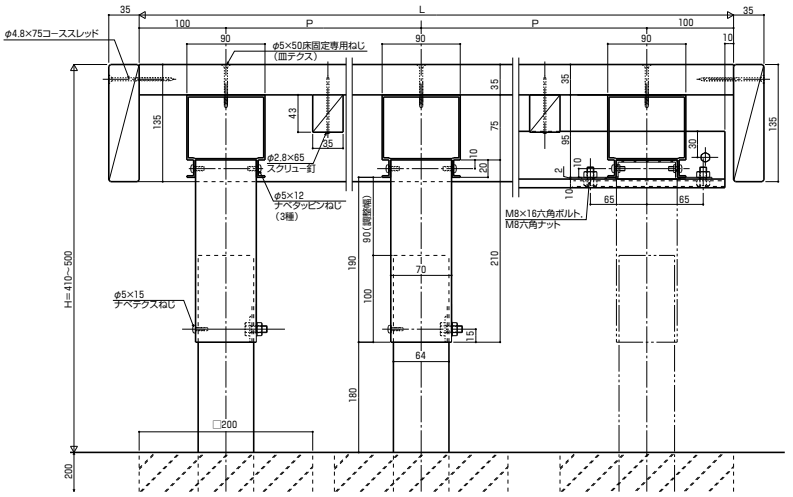
〔床横張り〕

●出幅方向



呼　称	D
3尺	975
4尺	1255
5尺	1535
6尺	1815
7尺	2095
8尺	2375
9尺	2655
10尺	2935
12尺	3635
13尺	3915

●間口方向



呼　称	L
1　間	1955
1.5間	2795
2　間	3635
1間ワイド	2375
1.5間ワイド	3215
2間ワイド	4055